表 令和6年7月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第54～62号	1日、5日、8日、12日、15日、19日、22日、26日、29日 16時00分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。14日の爆発では噴煙が火口縁上4500m。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。 現地調査による火山ガス(二酸化硫黄)放出量[t/日](5日、24日)は、2400(多い)、800(やや少ない)。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS連続観測では、島内の一部の基線で2023年1月頃から山体膨張とみられるわずかな伸びが認められたが、同年4月頃から停滞。始良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟む基線では、長期にわたり地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。始良カルデラ地下深部にマグマが蓄積した状態で、火山ガス放出量も概ね多いことから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられる。
		降灰予報(速報)	8日 05時19分 14日 18時36分 20日 14時05分 29日 14時13分 16時51分 17時03分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	8日 05時31分 14日 18時46分 20日 14時27分 29日 17時13分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 火口周辺規制)	解説情報 第57～65号	1日、5日、8日、12日、15日、19日、22日、26日、29日 16時00分	火山性地震は古岳火口付近浅部では概ね多く、新岳付近では少ない状態。 新岳火口で白色噴煙を観測。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は少ない状態。 9～13日の現地調査で、引き続き古岳火口付近及び新岳火口西側割れ目付近に地熱域を確認し、特段の変化は認められず。 GNSS観測で、2023年11月頃にかけてみられた古岳付近の膨張を示す変動で膨張した状態が維持されている。 火口付近浅部の地震活動はやや活発で、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量や古岳の地熱活動は2023年6月からの活動以前の状態より高まった状態で推移。新岳火口及び古岳火口の周辺において噴火が発生する可能性がある。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第35～36号	5日、12日 16時00分	火山性微動の振幅は小さい状態。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量(12日)は、1200[t/日]でやや多い。火山性微動の振幅に時々増大がみられ、火山活動に高まりが認められる。

(次頁に続く)

令和6年7月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
阿蘇山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	噴火予報 (警報解除)	19日 11時00分	火山性微動の振幅が6月下旬以降概ね小さな状態で経過し、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量にも増加はみられない。火山活動が低下していることから、中岳第一火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられる。
		解説情報 第37号	19日 11時10分	火山性微動の振幅は6月下旬以降概ね小さな状態、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は5月15日以降1500[t/日]を下回る状態。17日の現地調査で中岳第一火口底に乳緑色の湯だまりを確認、量は約7割で前月(約5割)より増加。GNSS連続観測で、草千里を挟む基線の2023年12月頃からの伸びの傾向は1月下旬以降は停滞。火山活動が低下していることから、噴火警報を解除。 一方で、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量はやや多く、中岳第一火口南側火口壁で高温域が認められ、火口内では土砂や火山灰の噴出の可能性はある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第53~61号	1日、5日、8日、12日、15日、19日、22日、26日 16時00分	火山性地震は、4月中旬以降増加した状態。3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は、4月下旬から鈍化し5月に入り停滞。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は2023年3月以前に比べて多い状態。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第27~31号	1日、8日、15日、22日、29日 16時00分	火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。GNSS連続観測で島内の一部の基線で2023年10月頃から縮みの変化がみられる。噴煙、火映、地殻変動等の火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第33~37号	1日、8日、15日、22日、29日 16時00分	噴火活動が継続。爆発、大きな噴石の飛散、噴煙、火映の状況。火山性地震、微動の発生状況。GNSSでは、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	21日 17時38分 20時02分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
焼岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報(臨時) 第31~38号	1日、3日、5日、8日、10日、12日、15日、17日 16時00分	山頂付近の火山性地震は6月30日までの10日間で71回。その後72、68、56、52、48、16、16回。 地震回数が減少し、レベル引上げの可能性は低くなった。一方、GNSS連続観測では、長期的に山頂付近の緩やかな膨張が続き、5月末頃から変化率に増加傾向がみられる。中長期的には火山活動が高まってきている可能性がある。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 浅間山、阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。阿蘇山では、19日8時で発表を終了した。